



アトア

—岩手県民のてとてをつなぎ、環境の輪を広げるために—

出張環境学習会

夏休み学習会 SDGs

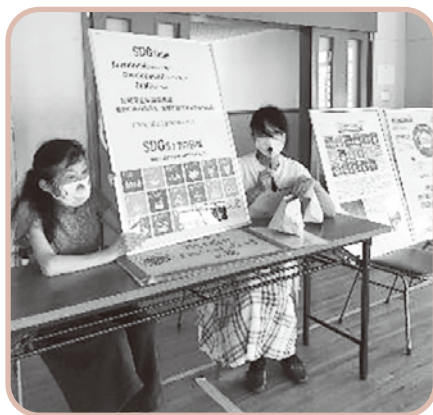


8月5日、盛岡市の仁王児童センターにて「夏休み学習会・SDGs」が開催されました。

SDGsの基本や地球温暖化について学んだ後、2つのグループに分かれ、28名の児童が2種類の工作体験をしました。

1つは自然の木の葉を使った工作、もう1つは、使い終わった封筒を再利用し、バッグを作るリサイクル工作です。子どもたちは、とっても楽しそうに夢中で工作に取り組みました。

工作体験を通して、SDGsのNo.12(つくる責任・つかう責任)、No.13(気候変動に具体的な対策を)の理解を深める出張環境学習会になりました。



「コロナ禍」2021年忘れることのできない言葉となりました。パンデミックにより多くの人たちが多大な影響を受けました。8月中旬から9月中旬にかけ出された岩手県独自の緊急事態宣言、ワクチン接種者の増加により、ようやく感染者数は減少に転じました。私たちはこの教訓を次に活かしていかなければなりません。



Index

- 出張環境学習会
- 「岩手環境学習応援隊」企業の紹介 ～刈屋建設株式会社～
- センター活動レポート
- 環境アドバイザー・岩手県地球温暖化防止活動推進員のご紹介
- 地域循環共生圏のつくり方をまなぶ④
- 環境学習交流センターイベント情報



「いわて環境学習応援隊」企業の紹介！

Think Globally, Act Locally.

地球規模で考え行動は足元からを、日々実践する 刈屋建設株式会社

「いわて環境学習応援隊」は環境問題に関心が高い企業などを登録し、県民の皆さんに活動を周知し、環境学習などに取り組む学校や地域との橋渡しを行う本県独自の取組です。平成21年度から始まり、現在56の企業・団体が登録し、見学会や出前授業を行っています。今回は、宮古市刈屋に本社を置く刈屋建設株式会社の事業内容、環境の取組を紹介いたします。

道路建設、維持、治山工事を専門とする建設会社

刈屋建設株式会社は、三陸沿岸道路（復興道路）などの道路建設、ダムなどの治山工事、国道、県道、市道などの道路の維持にかかる工事（冬季間は道路の除雪を含む）を主な業務とする建設会社です。昭和26年に創業し70年の長きにわたり地域社会への貢献を第一義に、事業を継続してきました。自然、環境に関わる仕事を中心であることから、社の環境方針として「Think Globally, Act Locally. 環境保全と経済活動が両立する持続可能な社会の実現を目指す」をかかげてきました。品質方針としては、「よい仕事を安全に施工し、顧客の信頼を得ること」をあげています。

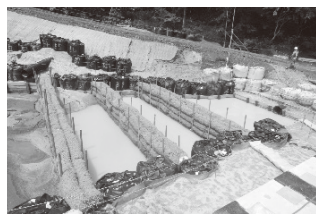
環境に配慮した工法、施工を常に考慮

震災関連の工事の一つ浄土ヶ浜遊歩道の復旧工事では、国立公園内のため景観に配慮した工法を取り入れました。通常、道路脇の崖の落石対策は壁面をネットで覆いますが、これを使わず、岩を接着させる工法を採用しました。直接目には見えない部分にも配慮し、景観を優先した工法です。治山工事（谷止工）では、ダム表面に間伐材を使用しました。樹木の良い生育を保つため間伐は不可欠であり、間伐材の活用は、森の循環を促し山の保全につながります。河川工事で出る濁水の浄化対策では、カキ殻やヤシ繊維をフィルターとして使用し、放出基準を計測しながら、川の生き物に配慮した作業を行いました。

環境保全の基本である省エネ活動では、巡回時に充電するバックホー（ハイブリッド建設機械）の導入により、稼働1時間あたり2リットルの燃料を削減しています。また、情報化施工を積極的に進め、マシンコントロールブルドーザーによる排土高の自動均質化や、同バックホーでは道路断面をモニター表示させることにより、熟練者でなくとも精度の高い作業を迅速に行うことができます。ドローンを使用した測量や現場の写真撮影では、人の立ち入りが困難な場所での作業の効率化と迅速化に貢献しています。



浄土ヶ浜遊歩道の復旧工事
国立公園内のため、景観を損ねないように落石対策を行う



ヤシ繊維を利用した掘削時の汚水処理



カキ殻を利用した掘削時の汚濁処理



建設工事(治山)
間伐材を利用した谷止工(中身は石)

環境保全・省エネ活動の基本にある人材育成

効率的に建設機械を配置し、作業を円滑に進めるため本社と現場、複数の現場間のコミュニケーションが欠かせません。現場の数が増えると、コミュニケーション不足になりがちです。工事を効率よく進めるために、工事の工程を会社全体で管理しフォローアップします。その際は、業務に有益な取組か、従業員への過度な負荷はないか、環境負荷が生じていないかを常に検討しています。このため各種のシステムも取り入れました。環境マネジメントシステムISO14001は、平成12年に取得以来、維持、更新に努めてきました。燃料、電気、CO₂排出量、廃棄物発生量などの数値を常に把握し、法令順守とともに、一連の行動が従業員教育に活かされるかどうかを判断、評価しています。会社の最高責任者・経営者が、環境活動に強い関心を持ち、作業を行う現場と一体となり、環境保全と業務改善に取り組む意欲溢れた会社です。

現場巡視には女性社員も参画

安全パトロールの他に、月1回女性社員が主体となって衛生パトロールを実施しています。女性の目線で現場を確認し、アルコール消毒液や除菌シートの配布、トイレの掲示の作成等を行いました。男性社員からも「男性ではあまり気づかないところを指摘されて驚いた。以前より現場事務所がきれいになった」と評価を得ています。社員45名の中で女性は3名ですが、いわて女性活躍認定企業等（ステップ2）の認定取得など、女性の能力を活用しています。総務課の女性社員は、「建設業は自分の手でものを作り、災害の際は最前線に立つ。地域の皆さんの役に立つこの仕事は本当にやりがいがあるし、面白いと思う」と笑顔で話されていました。

「大雨、強風による土砂流出や倒木、河川の氾濫、道路の維持管理は、待ったなしの作業です。緊急時には一番先に現場に駆け付ける、これを念頭に会社の組織体制を整えてきた。地域の存続に貢献する地場の会社、地域の環境に配慮し地域の皆さんに必要とされる会社、背伸びはしないが、継続が大事、道路の維持業務を通じてチームワークは万全、本業の建設業を通じ、地域とともに歩む会社でありたい」と、代表取締役社長の向井田岳氏は、熱く語って下さいました。



女性社員が作成したトイレ掲示（全現場で掲示中）

同社では、宮古、盛岡地域に限定し工事現場の環境保護活動の紹介など、講師派遣、見学受入、プログラムの提供を行っています。環境学習の機会として、ぜひご利用ください。

【お問い合わせ】

刈屋建設株式会社総務課（宮古市刈屋11-80-3）
TEL：0193-72-3211

いわてを知ろう!!

見学会に参加してきました!!

大槌町「おおつち海の勉強室」

今年4月に、“ひょっこりひょうたん島”のそばに「おおつち海の勉強室」が復活しました。2018年に地域連携プロジェクト「海と希望の学校in三陸」が始まり、大槌の海の魅力を発信し、研究者と地域のみなさんが、生き物の疑問や発見を持ち寄り、交流を深め、三陸の海の「昔と今、未来」を共に考える場所として活動を始めています。

「おおつち海の勉強室」（東京大学大気海洋研究所国際沿岸海洋研究センター）では見学会を開催しています。かわい

い海の生き物のイラストが描かれた水色の壁が目印です。案内して下さったのは、研究員の大土さんです。中に入ると、小さいながらアカデミックな雰囲気



オサガメのはく製

がいっぱいです。中央に「オサガメ」のはく製があります。見学会に参加した時は、ちょうど「おおつちの海の企画展」が開催中でした。企画展は研究の成果を発表する場であり、テーマが次々と変わります。



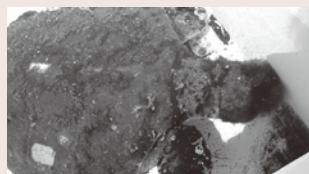
大土さんは「カニ」が専門です。大槌湾で新種の「オオヨツハモガニ」を2019年に発見しました。そのコーナーもあり、近日中にカニのハサミをストラップにして販売の予定です。また、生き物の水槽では、大槌湾の生き物が見られます。その他、標本展示、藻場の紹介、図鑑、絵本などがたくさんあり、自分で調べることができます。生き物の標本瓶からは、今後、大発見に繋がるものが出てくるかもしれません。



外には、ウミガメがいます。ウミガメは触れると食欲をなくすので、接触は禁止されています。大土さんは、アオウミガメとアカウミガメを紹介してくれました。頭が大きめで、背中に苔が生えても平気なのがアカウミガメです。肉食系で、エビやカニ、イカやクラゲが大好物です。頭が小さめで、背中の模様がくっきり見えるのが、草食系のアオウミガメです。アカウミガメは屋久島、アオウミガメは小笠原諸島で、漁師さんの網にかかり海の勉強室に運ばれました。どんな餌を食べているのか、海洋ゴミを食べていないか等を調べた後は、海に帰します。ウミガメたちは時々、頭を出して、フ〜ッと呼吸しています。バシャ、バシャという音が聞こえ、水しぶきも飛んでいます。長めの水槽の中のウミガメはターンを繰り返し泳ぎ、楽しんでいるようでした。

研究成果の発表の場として、生き物を展示し、海の魅力をたくさんの人々に伝える素晴らしい「おおつち海の勉強室」です。

見学会は予約制です。新型コロナウイルス感染症対策の観点から、ご利用の際には解説員が同行し、月4回ほど行っています。皆様ぜひご参加ください。



アカウミガメ



アオウミガメ

【お問い合わせ】

東京大学大気海洋研究所 国際沿岸海洋研究センター
大槌町赤浜1-19-8 TEL 0193-42-5611



八幡平市旧松尾鉱山跡地

第14回

北上川の森と海とを結ぶ 緑の復元活動

仙台市のNPO法人東北生態工学研究所は、八幡平市旧松尾鉱山跡地の植樹活動に長年取り組んできました。松尾鉱山は閉山後50年になりますが、酸性水の滲出や酸性土壌の影響により緑の再生が十分進んでいません。改善のため2008年に植樹を始め、これまでナナカマド、ミズナラ、アキグミなど8,250本を植え、累計約2.2haの緑化を手がけました。2018年からは、育樹（補植・剪定・施肥）により植生を整え、八幡平本来の自然環境になるよう活動しています。活動14回目となる9月25日は、仙台から12人、盛岡から3人が、雑草取りと剪定に入りました。アキグミは他の樹種より生長が早く、繁茂した上部を剪定し、ナナカマドの日当たりを確保しました。すっきりしたところで南側に1本ミズナラを補植し施肥を行いました。一汗かき、がんばったという満足感で、みんないい顔です。朝早く仙台から来てくださったボランティアの皆さん、岩手のためにありがとうございます。感謝です。



捕植・施肥



アキグミを大胆に剪定



自生の松と補植のミズナラ

新任 環境アドバイザー・岩手県地球温暖化防止活動推進員のご紹介

令和3年度に新たに環境アドバイザー(以下アドバイザー)、岩手県地球温暖化防止活動推進員(以下推進員)となられた方13名を紹介しします。派遣可能地域、解説分野を参考に、自然観察会、水生生物調査などにアドバイザーの、温暖化防止のための学習会などに推進員の派遣制度をご利用ください。派遣にかかる謝金、旅費は県が負担し、主催団体様の負担はありません。

- ① お住まい
- ② 派遣可能地域
- ③ 解説分野
- ④ 講義テーマの例
- ⑤ ご本人のコメント



石塚 勇太さん(アドバイザー)

- ①釜石市 ②県全域 ③自然保護・自然観察、生物多様性
- ④自然観察会(樹木の生態、特性について)、親子で木育の森
- ⑤普段何気なく身近にある自然について、特に森林生態や樹木のことを中心にわかりやすく丁寧に解説いたします。また、学問的・学術的なアプローチだけでなく、人々の暮らしの中でどのような関わりがあるかを皆さんと一緒に考えていければと思います。



伊藤 信子さん(アドバイザー・推進員)

- ①雫石町 ②県全域 ③地球温暖化問題、その他(環境にやさしいヴィーガン、食生活・ヴィーガン料理)
- ④地球と体にやさしいヴィーガン入門講座
- ⑤毎日の食事から、環境負荷の少ない、地球にやさしいライフスタイルを実践する方法をお伝えします。具体的には、温室効果ガスの排出を効果的に減らせる食法であり、森林や水資源の保全、食糧問題の解決にもつながるライフスタイルである「ヴィーガン」について、その歴史や環境との関係、健康との関係、科学的な理論及び具体的な実践ガイドなど、20年の学びと実践に基づきながら分かりやすくお伝えします。



菊池 統一さん(アドバイザー・推進員)

- ①花巻市 ②県全域 ③ごみ減量化・リサイクル、自然保護・自然観察、環境マネジメント、節電・省エネルギー、地球温暖化問題、気候変動
- ④絶滅危惧種の発生と人間活動の関係を通じた、自然環境保護に結び付く生活の提案、生物観察を通じた自然へ親しむ場の提供、環境経営マネジメントの取組、取得方法、異常気象からの地球温暖化問題の説明と、その対策となる省エネ、3R、節水の具体的な方法、省エネ診断を実施し改善方法を提案します。
- ⑤地球温暖化・エネルギー問題を企業や住民に理解し、取り組んでもらうためには、地球規模の話よりも、岩手県や市町村単位での変化、影響を説明することにより、身近に感じてもらうとエコアクション21の審査員の経験から感じています。



小堀 啓さん(推進員)

- ①盛岡市 ②県全域 ③大気の保全、ごみ減量化・リサイクル、環境マネジメント、節電・省エネルギー、再生可能エネルギー、地球温暖化問題、気候変動、その他(省エネ住宅、省エネ建築、エコタウン、まちづくり)
- ④建築物の省エネ化、木材利用促進、健康住宅、日常や企業活動における省エネ、エコタウン、空き家活用、まちづくり
- ⑤建築が関わるエネルギーや木材利用等自然保全の取組のこと、特に私達の日常や企業活動における省エネとエネルギーについてお伝えし、建築とエネルギーについて理解を深め、地球環境保全に向け一緒に行動していきたいと考えています。これからの私達は、この美しい地球を守るため、日常生活はもちろん、企業活動においても省エネ化を進め、地球の負担を軽くしなければなりません。「自分さえ良ければいい」という利己的思考から「みんなのために、地球のために、未来のために」という利他的思考にシフトして、地球のための地球温暖化防止の取組を進めましょう。



佐々木 幸さん(推進員)

- ①一関市 ②県全域
- ③節電・省エネルギー、再生可能エネルギー、その他(ファイナンシャルプランニングの側面からのエコ活動)
- ④脱炭素社会とファイナンシャルプランニングを融合させた「ダブルエコ活動」
- ⑤太陽光発電システムの搭載や電気自動車の導入について、実体験を通じて地球環境と家計からの両方の視点で啓蒙していきたいと思っています。1級ファイナンシャルプランニング技能士の資格を取得し、数字の裏付けも説明できるようにしています。



佐々木 美智子さん(推進員)

- ①一関市 ②県南地域
- ③節電・省エネルギー、再生可能エネルギー、地球温暖化問題、その他(電気自動車、ガーデニング)
- ④「太陽光発電システム」や「電気自動車」の(体験談)
- ⑤「太陽光発電システム」や「電気自動車」というと、費用面からハードルが高いと思われがちですが、実際に体験してみた話を伝えたいと思います。また、「ガーデニング」により植物を育てることで地域の方や観光客の方に楽しんでいただいています。一般の主婦目線から楽しみながらできる脱炭素の方法を考えています。



関沢 浄さん(推進員)

- ①盛岡市 ②県全域 ③地球温暖化問題、気候変動
- ④地球温暖化・エネルギー問題での学習会
- ⑤人類が末長く生活していける地球環境を維持していくにあたって、地球温暖化対策は急がれる課題です。CO₂排出が多い企業の責任は大きいものがありますし、技術の発展も必要です。何より重要なのは、一人ひとりが地球温暖化、エネルギー問題に思いをよせて行動につなげて行くことだと思っています。



田鎖 みよ子さん (推進員)

- ①盛岡市 ②県全域 ③ごみ減量化・リサイクル、その他 (片付け)
- ④エコ活動の初めの一步は自分の部屋の片づけから、自分の部屋の片づけからできる地球温暖化防止、エコ活動を提案。「ワークショップ」に参加した方が実践できる循環型地域社会の形成が活動テーマです。
- ⑤部屋を片付けることで、無駄な買い物が減り、お財布 (自分)・ごみ減量 (地域)・限りある資源 (地球)・CO₂削減みんなが幸せになる温暖化防止活動が、誰にでもできるようになるのが目標です。時間・空間・資源・思考につながる「地球温暖化防止・ライフスタイル」を提案します。



多門 真咲さん (アドバイザー)

- ①一関市 ②県央、県南、沿岸南部地域 ③自然保護・観察、生物多様性
- ④里山の植物を中心とした観察会、市街地の帰化植物の調査、植物の形態についての講義と実習、高山植物の観察会、水田・用水路の生き物観察会
- ⑤私たちの周りにはたくさんの生き物が生息し、しかも私達の生活と密接に関わっているにも拘わらず、彼らに目を向ける機会は少ないように思います。地球環境への関心が高まっている昨今、自分の周りの環境を理解する有効な方法のひとつは、そこに生息する生き物について知ることだと思います。中でも植物はその土地の環境を反映して生息しており、動物より観察が容易です。私は、自然観察会において、特に身近な植物について、名前や特徴はもちろん歴史や文化との関りについても分かりやすい説明を心がけ、参加者の皆さんに興味と関心を持っていただけるよう努めます。



中島 崇さん (アドバイザー・推進員)

- ①山田町 ②県全域
- ③水質の保全、大気の保全、海洋ごみ、自然保護・自然観察、節電・省エネルギー、再生可能エネルギー
- ④自然素材や身近にあるモノを活用した工作体験、キャンプ等の自然体験活動、ネイチャーゲーム、小規模事業者への省エネ提案
- ⑤自然体験活動において、普段使っているマッチやライターを使わず火おこし料理を作ったりして、その体験からエネルギーとの関わりを考える機会を作りたいと思います。また、持続可能な自然という視点で環境に配慮したキャンプや野外活動を皆さんと体験していきたいです。



松尾 亨さん (アドバイザー)

- ①二戸市 ②県央地域、県北地域 ③水生生物調査、自然保護・自然観察、生物多様性
- ④自然世塾、森林づくりと人間との関わり、水生生物による水質や川と森林
- ⑤森林インストラクター、森林総合監理士として、森林環境の保全や森林と林業の関わりについて講師として、岩手県内で活動しています。昨年ご縁があり、河川の水生生物調査の講師をやらせていただきました。実体験から学ぶ子供達の笑顔が忘れられず、これからも森林～川～海へと続く縦の線と、農業の暮らしの横の線を学べる体験学習のお手伝いをしたいと思います。



森 敦子さん (アドバイザー)

- ①盛岡市 ②県全域
- ③自然保護・自然観察、生物多様性、地球温暖化問題、その他 (動物園動物、動物園に係る環境保全等)
- ④自然観察 (植物と友達になろう、森の野ネズミ探検隊、植物図鑑作成)
- ⑤盛岡市動物公園ZOOMOの職員として動物園を楽しみながら、環境保全を考える取り組みを続けるだけでなく、園外においても動物たちを入り口とした環境保全を幅広く普及したいと考えています。



柳谷 信吾さん (アドバイザー・推進員)

- ①大船渡市 ②県全域 ③地球温暖化問題、その他 (光害)
- ④天体観測等の星空体験を通じた環境意識の向上、良好な星空環境の維持とそれに伴う調査研究、光害問題の普及啓発
- ⑤「岩手県は銀河県」であると多くの県民に意識していただきたいと考えています。大いなる自然の中で、人間の活動を見つめなおすことができるようになる。それが環境アドバイザーとして、地球温暖化防止活動のひとつになるのではないかと考えています。



環境アドバイザー派遣による水生生物調査



推進員派遣による学習会

- 他のアドバイザー、推進員の情報は、アイーナのホームページに掲載されています。
- アイーナのトップページ→環境学習交流センター→環境学習交流センターの取り組み→環境アドバイザーの派遣を活用しよう→講師の派遣→アドバイザー・推進員名簿(PDF)をご覧ください。

地域循環共生圏のつくり方をまなぶ④

地域のコンセプトを描く・計画づくり、地域版マンダラを描く

地域循環共生圏の計画づくりは、望ましい未来を描き、現状とのギャップの確認から始まります。SDGsのアプローチ「バックキャスト」の手法により、地域の課題と原因、つながりを明らかにしていきます。目の前の課題に直接に対応する「課題解決型」の視点だけでなく、環境の取組により経済や社会にも利益をもたらす、「価値創造型」の視点が重要です。

地域のありたい未来と、その道筋を考えるツールが「地域のコンセプトシート」です。コンセプトシートは、ありたい未来、現在抱える課題、地域の資源、必要な取組などを一枚に図示化したものです。関わる多くの人が共有し、具体的なアイデアを練り上げます。地域課題の原因を深掘りし、共通の根っこは何か、同時解決ができるポイントがないかを探し、分野横断的に環境ローカルビジネスの発想に活用していきます。

地域には様々な課題があります。自立分散型のエネルギー、交通・移動、災害に強いまちづくり、日々の生活者としての衣食住のライフスタイル、地域のビジネスなどです。環境省は、ローカルSDGs（地域循環共生圏）ビジネスを、「マ

ンダラ」として図示化しました。仏教の「曼荼羅」は、精神世界の「つながり」や「構造」を表します。同じように地域の「つながり」と「構造」を重視したSDGsアプローチ「地域版マンダラ」作りが求められます。



出典：環境省・森里川海をつなぎ支える取組

環境学習交流センターイベント情報

★冬休み環境学習講座★

◆Pepper (ペッパー) と学ぼう!! 地球温暖化

日時：12月19日(日) 13:30~14:15
 定員：小学生以上20名(要申込み)
 内容：Pepper (ペッパー) と一緒に地球温暖化について学ぼう!
 同日：講座開催時間帯以外に「SDGsすごろく体験」ができるよ



©SoftBank Robotics

※「Pepper」はソフトバンクロボティクスの商標です。「Pepper社会貢献プログラム2」で提供されたPepperを活用し、県が独自に実施するものです。

冬休み環境学習講座の会場はいずれも環境学習交流センターです。参加は無料です。お電話でお申し込みください。

◆未来に続く家づくり

リサイクル材料でつくるエコハウス工作教室part 7
 日時：1月8日(土) 10:00~12:00
 定員：親子10組(要申込み)
 内容：設計図を描いて大工さんみたいにカッコいいエコハウスを建ててみよう!!

★センター展示情報★

◆幸呼来さっころJapanの挑戦!

いかす・つくる・つなぐ。
 裂き織りから生まれる色とりどりの可能性
 期間：12月2日(木)~1月31日(月) 9:00~19:00

◆愛鳥週間ポスターコンクール作品展

期間：1月5日(水)~2月13日(日) 9:00~19:00

環境学習交流センターでは環境アドバイザーの派遣、センターにおいていただく訪問学習、エコカーゴで出向く出張環境学習会を行っています。お気軽にご相談ください。

●「いわて環境情報板」(WEB掲示板) 発信中です! ●

岩手県や県内自治体の環境情報、イベント情報、助成金情報などを中心にお伝えします。環境という広範囲な話題を、皆さんにとって身近に感じられるよう、その時々タイムリーな情報と切り口でお届けします。毎月発信していきますので、お楽しみに!

「いわて環境情報板」：<http://www.iwate-eco.jp/know/mailmag.html>

いわて環境情報板 🔍 検索

発行 環境学習交流センター

〒020-0045
 盛岡市盛岡駅西通1-7-1 アイーナ5F
 TEL:019-606-1752 FAX:019-606-1753

◎環境学習交流センターは、特定非営利活動法人環境パートナーシップいわてが岩手県から委託を受けて、県とNPOとの協働により運営しております。

[E-mail] eco@aina.jp
 [Website] <https://www.aiina.jp/site/environment>
 [blog] <http://blog.iwate-eco.jp/>
 [Twitter] http://twitter.com/iwate_eco
 [Facebook] <https://www.facebook.com/iwate.eco>

